

佐渡 裕

戦争レクイエム

終戦80年。
反戦と平和への思いを込めて。

Soprano



ソプラノ
並河寿美
Hisami Namikawa

Tenor



テノール
清水徹太郎
Tetutarou Shimizu

Baritone



バリトン
キウ・ウオン・ハン
Kyu Won Han

Chamber Orchestra
Conductor

室内オーケストラ指揮
齋藤友香理
Yukari Saito

合唱／ブリテン「戦争レクイエム」合唱団
Britten War Requiem Chorus

管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団
Hyogo Performing Arts Center Orchestra

Program

ブリテン:戦争レクイエム op.66

Benjamin Britten: War Requiem, op.66

指揮・芸術監督／佐渡 裕

Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

© 飯島隆

2025 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第161回定期演奏会

8/8(金)・9/10(土)・10/11(日) 開演 3:00PM
(開場 2:15PM)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク／JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A5,000円 B4,000円 C2,500円 D1,000円 (全席指定/税込)

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

10:00AM~5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 2/14(金)

一般発売

インターネット予約 ■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp> ■イープラス <https://eplus.jp>
■チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com>

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター
[2/18(火)より、残席がある場合のみ]

2/16(日)

※ブレイグイドでのお取り扱いについては各ブレイグイドにお問い合わせください。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター



兵庫芸術文化センター管弦楽団 第161回定期演奏会



開館20周年、そして終戦から80年となる8月の定期演奏会。近年、ベンジャミン・ブリテンに積極的に取り組む佐渡裕芸術監督が選んだのは、反戦と平和への強い思いが込められた特別な作品です。

20世紀イギリスを代表する作曲家、ブリテンが1962年に発表した「戦争レクイエム」は、第二次世界大戦におけるすべての犠牲者への追悼曲として書き上げられました。歌われるのは、第一次世界大戦中に若くして戦死した詩人、ウィルフレッド・オーウェンが戦争の不条理を訴える詩と、ミサの典礼文を対比させるように組み合わせ、構成されたテキスト。ソプラノの並河寿美、テノールの清水徹太郎、そしてバリトンのキュウ・ウォン・ハンというおなじみのソリストと混声合唱、児童合唱が、大編成のオーケストラと、約1時間半にわたる大作を奏であげます。

ブリテンが残した平和へのメッセージを、佐渡芸術監督率いる若いPACオーケストラが熱い音楽で訴える、特別な演奏会。どうぞお聴き逃しなく。



佐渡 裕 (指揮・芸術監督) Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年より、オーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。オランジュ音楽祭「蝶々夫人」(演奏:スイス・ロマン管弦楽団)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グラ임ズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演の実績も多数。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、サントリー1万人の第九総監督等を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した21枚目のCD「マラー:交響曲第7番」を24年10月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生〜指揮者は時間を彫刻する〜」(PHP文庫/新書)など。出光音楽賞(1991年)、モンブラン国際文化賞(2003年)、渡邊院雄音楽基金音楽賞(2003年)、岩谷時子賞(2014年)などの受賞歴がある。
オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



齋藤友香理 (室内オーケストラ指揮) Yukari Saito, Chamber Orchestra Conductor

桐朋学園大学卒業。指揮を黒岩英臣、高関健、梅田俊明の各氏に師事。ドレスデン音楽大学大学院でG.C.ザンドマン教授に師事。小澤征爾から指揮研修生に選ばれてSKF松本での《ヘンゼルとグレーテル》でデビュー。2015年ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。リール国立管、ウィーン・トーンキュンストラ管、読売日響、大阪フィル、PACオーケストラなどを指揮。バイエルン州立歌劇場のワーグナー《パルジファル》で、K.ペトレンコのアシスタントを務めた。



並河寿美 (ソプラノ) Hisami Namikawa, Soprano

神戸出身。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。『トスカ』『蝶々夫人』『メリー・ウィドウ』等佐渡裕芸術監督プロデュースオペラで数々の題名役を務め、文化庁芸術祭大賞をはじめ多数受賞。昨年ポローニャ歌劇場来日公演『トスカ』に急遽代演し喝采を浴びた。また東日本大震災直後のズーピン・メータ指揮N響「第9」をはじめ数多くのコンサートに出演。ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」などでも高い評価を得ている。大阪音楽大学特任准教授。二期会会員。



清水徹太郎 (テノール) Tetutarou Shimizu, Tenor

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。2015年ドレスデンに招聘され《メサイア》のソリストを務める。NHK音楽祭フェドセーエフ指揮「エフゲーニ・オネーギン」トリケで活躍。第33回飯塚音楽コンクール第1位、文部科学大臣賞受賞。第9回東京音楽コンクール第3位、12年度音楽クリティッククラブ奨励賞、第38回灘ライオンズクラブ音楽賞、18年「兵庫県芸術奨励賞」を受賞。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」第九、「天地創造」「カルミナブラーナ」などで活躍。藤原歌劇団団員。



キュウ・ウォン・ハン (バリトン) Kyu Won Han, Baritone

マンハッタン音楽院で修士号を取得。1999年サンフランシスコ歌劇場「ドン・ジョヴァンニ」でデビュー。ベルヴェデーレ国際声楽コンクールなど多数受賞。サンフランシスコ・オペラ、ボルドー歌劇場、アイダホ・オペラなど世界各国で活躍。韓国ではドラマ「大王世宗」の主題歌を歌い人気を博す。プロデュースオペラ「トスカ」PAC「天地創造」など多数出演。滑らかで高貴かつ力強い質感の声は圧倒的な存在感で国内外のファンに愛されている。



兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパーワ賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 <https://hpac-orc.jp>

PAC公式SNS



@HPACorchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



<https://www.gcenter-hyogo.jp>
兵庫県立芸術文化センター
 Hyogo Performing Arts Center

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
 ホールまで15分

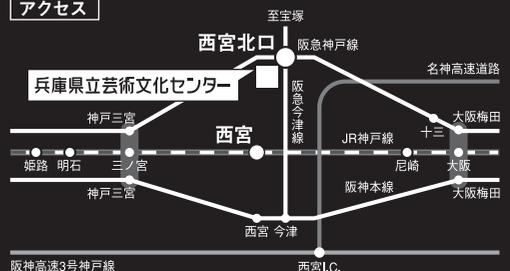
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



先行予約会員へのご登録はこちら

